



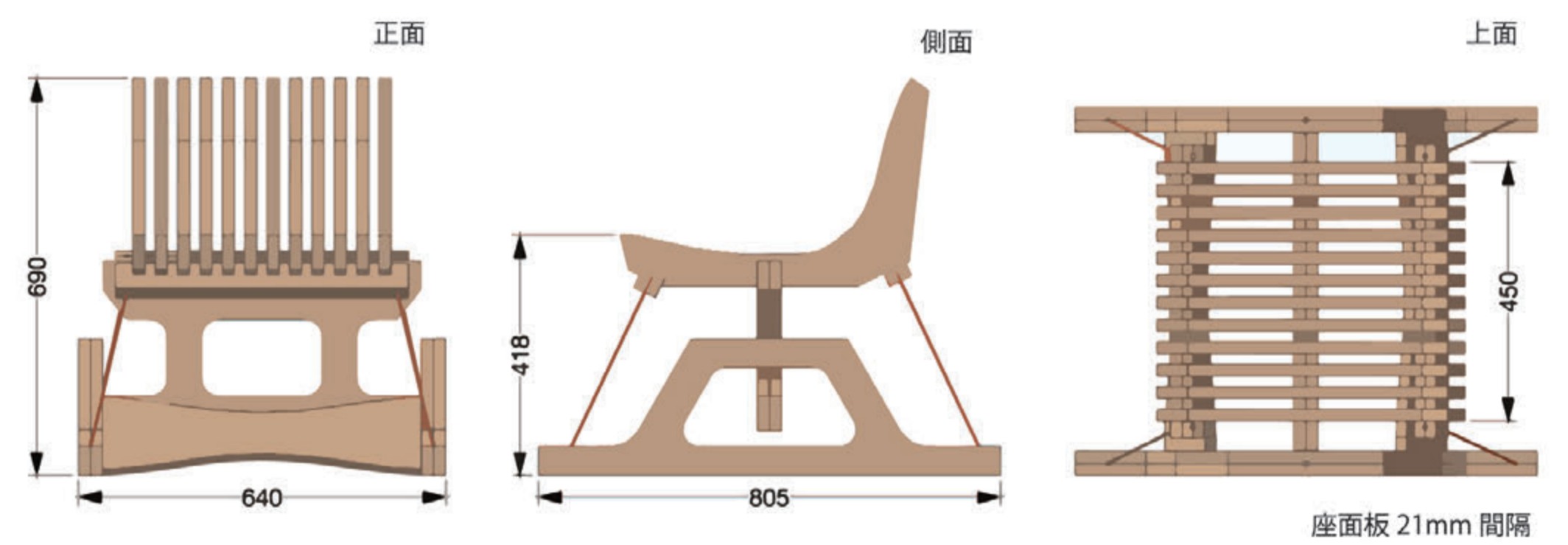
圧縮材と張力材の相互作用により弾力性を持っているため、実際に人が座って見ると、ロープがたわむことで衝撃を吸収している。

ロープがクッションの役割を果たし、独特な浮遊感ある座り心地を産んでいる。

座面に重さを加えると張り詰めていたロープにゆとりが生まれるため、ロッキングチェアのように前後に揺れることもできる。

浮遊感と心地よいリズムで心を落ち着かせ、ゆったりとした時間を過ごすことができる。

三面図



総重量：約 17kg
総重量：約 12kg

使用材料：MDF 材 910mm×1820mm 2 枚
ポリエステルロープ

フローティングチェア

floating chair

江島 莉花子

圧縮材と張力材の相互作用によって絶妙にバランスを保つ「テンセグリティ構造」を利用した椅子。まるで重力に逆らっているかのような非現実的な様相と、浮遊感ある座り心地を実現。